



# Ko-shi Nayotake Kai Official Report 2023

2023年 高思若竹会会報

日時：11月11日

場所：順天堂大学御茶ノ水キャンパス  
センチュリータワー19階ホール



今年度のみどころ♪

## コンテンツ一覧

1. 高思若竹会について
2. 2023年実施内容
  - (1) 司会挨拶(S57卒:三浦さん)
  - (2) 大学近況報告(和氣学部長)
  - (3) 出席者挨拶
  - (4) 懇親会(司会:S63卒:椎野さん)
3. 寄稿
  - (1) 竹内 啓さん(S36年卒)
  - (2) 井上 温さん(S42年卒)
  - (3) 鈴木 安さん(H 2年卒)
4. その他
5. 番外編(懇親会他)&次回の予定



和氣学部長に  
出席いただきました♪

参加者全員より  
一言挨拶を頂いた!

懇親会の最後は  
恒例の校歌斉唱♪

いつもの参加者でない方が  
数多く参加! 集合写真で確認♪

### <会員の皆様へ>

会員以外の卒業生で、当会への参加にご興味のある方がいらっしゃいましたら、本誌にて当会をご紹介頂きますと共に、事務局までご連絡頂けると幸いです。

# 1. 高思若竹会について

## ■「若竹会（なよたけかい）」について

故山本武彦名誉教授の環境衛生学ゼミナールの卒業生で構成され、昭和34年の卒業生を筆頭に会員数140名のOB会になります。現役だけでなく卒業生も大事にする故山本武彦先生のお考えにより、環境衛生学ゼミナールを先生が担当された当初からこの会が設立されています。先生の名前に因んで、「竹」の字を採用し、「若竹会（なよたけかい）」と名付けられ、毎年欠かすことなく、春に総会を開催し、最後の総会では50回を数えた会になります。

## ■「高思会（こうしかい）」について

順大生の進路は、教員が多く、卒後の交流や組織も活発に活動しており、社会的にも大学に対しても強い影響力を持っていた一方で、企業への就職者は人数が少ない状況でした。そうした中、企業OBが少しずつ増えてきたこともあり、情報交換や結束を強めていくため、また、後輩たちの就職支援を含めた大学との交流を深めるために、昭和46年に横浜新子安の居酒屋に数名が集まって発足させたのがこの会の始まりです。

会の名称は、在学中から企業への就職・卒業後に至るまでお世話になった故山本武彦先生に「高思会（こうしかい）」と名付けて頂き、総会には、毎回大学関係者をお招きし、過去には宮崎寛明元学長、片山 仁元学長、東 俊郎元学部長、千葉久三元学部長、黒田善雄元学部長、青木純一郎元学部長、北森義明元学部長、澤木啓祐元学部長、島内憲夫元学部長ほか大学の主要な方々にもご出席頂いております。総会では、会員相互の情報交換や勉強会を行い、それぞれの業務に役立ててきました。

## ■「高思若竹会（こうしなよたけかい）」について

平成22年、故山本武彦先生の1周忌を機会に、更なる発展を目指して「若竹会」と「高思会」を合併して「こうしなよたけかい」として発足しています。

<役員（2023年11月時点）>

会長	黒谷一郎（S51卒）			
副会長	齋藤慎也（S57卒）	三浦章宏（S57卒）		
顧問	五十嵐孝恵（S36卒）	竹内 啓（S36卒）	橋本隆弘（S41卒）	井上 温（S42卒）
	安藤 進（S46卒）			
幹事長	平井広巳（S46卒）			
幹事	佐久間康一（S45卒）	熊谷 健（S58卒）	平 容久（S60卒）	椎野恭司（S63卒）
	鈴木 安（H3卒）	姉齒 克（H3卒）	菅谷高志（H17卒）	

会に参加を希望される卒業生がございましたら、お声かけ頂きますと共に、  
幹事までご連絡頂けると幸いです。

## 2. 2023年実施概要

### (1)全体概要

- ・ 4年振りの開催であり恒例の山中湖泊りから、**日帰り総会**に切り替え開催しました。今年の開催場所は、鈴木安さんのご活躍により「**順天堂大学御茶ノ水キャンパスセンチュリータワー19階ホール**」で実施され、19階からの眺めは最高でした。
- ・ 総会参加者は4年前の32名から若干増え**36名**にご参加頂きました。  
4年振りということと、日帰り開催ということと、多くの方々にご参加頂いたのかなと思います。
- ・ 今年度は**和氣学部長にご参加頂き**、大学の近況報告を始め、情報交換させて頂きました。



黒谷会長のご挨拶

### (2)大学近況報告（和氣学部長）

- ・ 今では**医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部、保健医療学部、医療科学部、健康データサイエンス学部、薬学部**の8学部からなっており、昔の習志野時代とは全く変わっている。
- ・ また、さくらキャンパスは**体育館、室内プール、校舎が新設**され更に充実した授業が受けられる。皆様も時間がありましたら是非、さくらキャンパスに足を運んでいただき、今の順天堂大学を存分に堪能して下さい。
- ・ 就職に関しては昔と違い、**企業就職を希望する学生もかなり増えており、皆様のお力添えを是非お願いしたいとのこと。**



ご講演風景



和氣学部長からの近況報告

### (3)出席者からの挨拶

- ・ **1人2分前後**という司会からの一言で、若い方から順番に挨拶を頂いた。
- ・ 何とか総会での挨拶は若い方からでしたので、与えられた時間通りに進んだが、懇親会での挨拶は**お酒が入ったこと**、更には高齢者ということも相まって**1人5分程度**の挨拶となった。
- ・ ただ、久しぶり大先輩の挨拶が聞け、それが以前の高思若竹会だと記憶が蘇ってきた。



挨拶の様子(今村さん)

## 2. 2023年実施概要

### (4)2023年度出席者

No.	卒年		氏名
1	H	1	和氣 秀文
2	H	14	矢部 雅英
3	S	36	光永 英彦
4	S	36	竹内 啓
5	S	36	五十嵐 孝恵
6	S	42	井上 温
7	S	44	星 忠美
8	S	46	遠藤 佐久郎
9	S	46	安藤 進
10	S	46	平井 廣巳
11	S	47	在田 宗悟
12	S	48	大木 一夫
13	S	51	黒谷 一郎
14	S	51	池田 厚史
15	S	57	三浦 章宏
16	S	57	齋藤 慎也
17	S	58	熊谷 健
18	S	60	平 容久

No.	卒年		氏名
19	S	60	浅田 憲一
20	S	61	東 泰弘
21	S	61	呉羽 正人
22	S	62	武居 正憲
23	S	63	今村 登
24	S	63	椎野 恭司
25	H	1	京極 浩
26	H	1	北村 靖二
27	H	1	宮地 秀行
28	H	2	鈴木 安
29	H	3	姉齒 克
30	H	3	小川 宏則
31	H	3	茂木 森夫
32	H	4	鈴木 剛
33	H	5	佐藤 涉
34	H	6	竹内 保男
35	H	10	眞田 雅彦
36	H	18	加藤 博久



2023年高思若竹会集合写真  
@順大御茶ノ水センチュリータワー19F

### 3. 寄稿①：竹内 啓さん（S36年卒）

#### 「久我さんの思い出」

我々昭和36年卒組の4名は85歳を越え、日本人男子の平均寿命の更新に貢献してきました。しかし、昨年久我さんの体の調子が悪いということを知っており、心配していたところでしたが、本人より昨年8月に医師から、あと1週間の命と言われたそうです。そこで、急遽激励の意味を込めて順大の応援用の旗を送ったところ、ベッドからジーと見ていたそうです。残念ながら久我さんは2022年9月1日に亡くなられたのですが、関係者からは万一のことがあったら、叙位叙勲の手続きを取るから連絡してほしいと言われていたそうです。

山本先生のゼミでは、当時、実験用の動物を飼っていたのでエサやりが大変でした。特に正月の当番を誰がやるかが話題になっていました。M君は教員志望でスキーの練習ということで除外、彼以外の者で世話したわけですが、正月の大久保商店街は今のようコンビニが無いので自分の食事さえ苦労したものです。

また、サルの本公は普段は我々にも懐いていますが、そこに久我さんが現れると我々に噛みついてきて、結局本公のボスは久我さん一人だったようです。

久我さんは、日頃から図書室によく行っていました。お目当ては本ではなく、図書室の事務担当である峰岸さんという女性でした。なんと、卒業後は愛知県に連れて行ってしまいました。

卒業後は順大から初めての愛知県職員として、叙勲の候補者にもなるような素晴らしい仕事をしていました。定年退職後は、最後の大仕事となった「あいち健康プラザ」の設立でした。

我々も見学に行ったことがあります。国内では類をみない健康づくり総合施設として「健康日本21あいち計画」の中核施設となっているプロジェクトでした。

久我さんのすばらしい行動力は大変勉強になりました。  
ご冥福をお祈りいたします。



故久我さんと同期の光永さん、五十嵐さん、竹内さん

### 3. 寄稿②：井上 温さん（S42年卒）

#### 「高思会同志・健ちゃんを偲んで・今に思うこと」

##### 【はじめに】

高思若竹会が2023年年11月11日土曜（大安）に順天堂大学お茶キャンパス・センチュリータワー19階ホールにおいて和氣学部長先生をお迎えし盛大に開催されましたことをお慶び申し上げます。黒谷会長はじめ事務局のみな様が大変なご尽力をいただきましたことに感謝申し上げます。

「若竹会」は山本武彦先生の研究室で指導を受けた門下生の親睦会として、1959年卒の故・伊藤久史さんや故・大房昌実さんが神奈川県に奉職し、衛生部でご活躍していたときに創設されました。2003年2月に伊藤さんがご逝去後、竹内啓さんが1966年卒の橋本隆弘さんたちの協力のもと二代目の会長として2009年9月13日に山本武彦先生（通称・武さん）が他界されるまで、若竹会を導いてくれました。会員総数140余名、企業や教育・研究職、衛生行政など広域にわたっています。

##### 【高思会の発足の経緯】

一方、高思会は、健康学科卒で企業に就職して専任の衛生管理者として人事・労務・安全衛生部門に就いた人たちを中心に創設され、名づけ親は「武さん先生」でした。事の起こりは私と安部健さん（旧姓遠藤健さん・通称・健ちゃん）と私の会いから始まります。私は武さん先生に民間企業の専任衛生管理者の道を進められ、東敏郎学部長先生の推薦により、犬のマークの日本ビクター（現・JVCケンウッド）に入社しました。

労働基準法時代に衛生管理者の国家資格を無試験で取得出来たのは、東京大学医学部衛生看護学科と順天堂大学体育学部「健康教育学専攻」の2大学のみでした。特権があるのに衛生管理者の道に進む学生がいなかったために私が指名された次第です。

##### 【健さんとの出会い】

私が順天堂に在学した4年間では健ちゃんとの出会いはなく、彼を知りません。健ちゃんは私の1年後輩、柔道部に所属し、3年生の時に啓心寮の寮長となったということも後で彼から聞きました。私が配属なった上司の診療所長は東大医学部卒、運河を挟んで日産自動車の本社工場があり、その本社診療所長も東大医学部卒、それに川崎市に富士通があって、日本鋼管等含めて先生方は、くまなく情報を取り合っていたようでした。日本ビクターが順天堂から専任の衛生管理者として私を採用したことにより、日産自動車も「健ちゃん」を採用、富士通も1970年に佐久間康一さんを採用しています。健ちゃんは山本幹夫教授の研究室でしたが、幹夫先生が帝京大学の医学部新設に当たり引き抜かれたために「武さん先生」が健ちゃんの就職の指導することになりました。健ちゃんはその縁で卒業後に「若竹会」に入会した次第です。

##### 【高思会の発足】

1969年卒の星忠美さんが第一製パン、1970年卒の佐久間康一さんが富士通、1971年卒の平井広巳さんがビクターに、同期の土居正樹さんが日産自動車に入社、その後、ビクター、日産、富士通中心に卒業生が増え続けていくことになりました。

### 3. 寄稿②：井上 温さん (S42年卒)

1946年のこと、私と健ちゃんは、星さん、佐久間さん、土井さん、平井さんたち数名を誘い新子安駅前の飲み屋の集まりが「高思会」の始まりとなります。その後、横浜市衛生局の1970年卒の福井輝司さん、井口清也さん、労働省に入省した現会長の黒谷一郎さん、小林英利さん、青山務さん巻き込み、その後、1979年に教職に就いた山田寛さんたちにもお誘いして大きく発展していくこととなります。

その中心的な役割を担ったのは剛腕の健ちゃんでした。ビクター、日産自動車、富士通の保養所で毎年2回、宿泊で研修会と懇親会により、順天堂の結束を深めることになりました。東学部長先生や歴代の学部長先生にもご出席をいただき、時に片山仁学長先生にも山中湖のビクターの保養所にお招きしたこともありました。武さん先生のご逝去後、若竹会と高思会が合併することになり、初代会長に健ちゃんが就任されました。

#### 【健ちゃんのご活躍】

健ちゃんは日産自動車に入社して本社工場、栃木工場、東京・本社で安全衛生の管理職を歴任後、ミドリ安全に入社、理事や顧問を担いながら各防災団体で労働衛生コンサルタントとして酸欠、特化則、有機溶剤、石綿などの作業主任者の技能講習の他、特に衛生管理者の国家試験の準備講習の講師としての的確な指導のもとに多くの衛生管理者をこの世界に輩出しています。

その他、保護具アドバイザー養成講習の講師、建災防保護具調査検討委員会委員長、さらには国際呼吸保護学会のアジア支部日本部会の理事として活躍されました。これらの業績により、緑十字賞、神奈川労働基準局長賞、厚生労働大臣賞を受賞しています。

ただ、非常に残念なことに健ちゃんは2020年1月24日に、ご家族の方に見守られ75歳でご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

#### 【順天堂・スポーツ健康学部に見守ること】

こんなに多くの健康学科の卒業生が企業の人事・労務・総務、あるいは行政、研究・教職の分野で活躍しているのに「健康学科」が無くなってしまいました。会員のどなたかが質問なさっていたけど、本当なの？ 健ちゃんが本会に出席していたら、怒り狂って抗議したかと思います。

600余名の学生の就職先が民間企業に進む割合が高くなっているそうです。今や「第一種衛生管理者」の国家試験の難度も上がり、取得するのに大変な時代となりました。私たちの時代は「労働衛生学」専門の教授が山本幹夫先生や山本武彦先生のように国内の産業衛生学会の分野で名の通る先生方が情熱をもって指導に当たってくれました。

本会でも63年卒の椎野恭司さん（椎野労働衛生コンサルタント事務所・代表）をはじめ、国内において各方面で活躍している著名な会員が多くいます。健康学科の復活と会員の特論などによる講師の復活をのぞみます。順天堂の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とが活躍を祈念しております。

### 3. 寄稿③：鈴木 安さん（H13年卒）

#### 高思若竹会総会復活 回想録

2023年11月11日の土曜日、13時を少し回ったところ。御茶ノ水 順天堂センチュリータワー19階のホールにS58年卒 三浦先輩の声が響いた。ついに始まる！司会進行役としての自己紹介、「優秀な成績で卒業」と自らを褒め称える。そうだ、これだ！私がこの先輩が大好きな所以、この自己肯定感の高い三浦さんの自己紹介、これを聞かずに高思若竹会はない。そして沸々と湧いてきた、4年ぶりとなった高思若竹会の総会がついに始まったという達成感に満たされる。

そう、この夏は誠に暑かった。思えば、あの日も既に暑かった。2023年5月20日、高思若竹会 幹事会が横浜で執り行われた。コロナ禍により開催が見送られていた総会を4年ぶりに再開させるための会議だ。場所は、日産を卒業され次に移られた先でもご活躍の熊谷先輩が勤務先の会議室を提供くださった。当日集まることの出来た黒谷会長以下、平井さん、三浦さん、熊谷さん、椎野さん、姉齒さん、そして私が卓を囲んであれこれと議論を交わした。4年は短いようで長かった。本当に再び開催出来るのか、そもそも大先輩方は徐々に、若い世代からの参加も殆どなくなってしまった高思若竹会。

ある意味区切りとなる大切な総会ではあるが、コロナが5類相当扱いになっとは言え大手を振って宿泊しながらというご時世でもない。まずは、都内での日帰り開催が妥当と結論づけられた。会場探しには困るところであったが、順天堂の御茶ノ水センチュリータワーで行った経験があったため、直ぐに知り合いの方に打診した。後日、有難いことにタワーを管理する本院総務より現役職員が当日居ることを条件に借用いただけると返事を貰え会場は決定した。盛夏8月4日には幹事会より椎野さん、姉齒さんと共に3人でセンチュリータワーの視察を実施、大変恵まれた会場を得たと皆で喜んだのがつい先日を感じる。今までお世話いただいた総務部の稲葉さんは、安藤さんの元部下。彼女には本当に最後までご高配賜った。総会における懇親会のためのケータリング業者探しも手間取ったが、コレも稲葉さんにご紹介いただいた先でお願いすることが出来た。

課題を一つずつ潰して準備を重ねてきたところで、何とここでS36年卒の重鎮トリオから、この機会に「さくらキャンパス」を見学したいとの宿題を黒谷会長が仰せつかったと報告が舞い込んだ。どーすれば重鎮方にご満足いただけるか？幹事会の皆で知恵を出し合った。結果、「啓友会」のみならず「さくら会（順天堂保護者会）」の役員も経験されキャンパスには精通した椎野さんがツアコン役になっていただき何とか実現にこぎつける事が出来た。また、来賓としてお招きする和氣学部長へのご案内（出席依頼）、会員への開催のご案内を実施し、幹事の努力もあり、ついに参加の返事は36人まで集まった。この結果には大変感激した。

そしていよいよ当日の開催に至るのだったが、幹事会のLINE交信は前夜より当日の朝まで熱く続き、この総会を盛会に終わらすにはと本当に直前まで皆が団結したことに熱いものが込み上げたのは私だけではなかったと思う。確か私が幹事会メンバーに入れていただいたのは、ほりのやさんを総会々場に移したのがキッカケだったと記憶している。慣れ親しんだ旧ビクター保養所うおやすさん（そう、私が失踪事件を起こした、かの場所）のクローズにより新たな会場探しが必要となり、私の前職が新卒社員研修に利用していた宿が山中湖にあった事がご縁で「ほりのや」さんにお世話になる事になった。



### 3. 寄稿③：鈴木 安さん（H13年卒）

ただ、これも偶然ながら「ほりのや」さんのご令嬢が順天堂OGだったということで、この私のファインプレイはいつしか皆さんの記憶から薄れられ、順天堂ファミリーの縁で「ほりのや」さんになったと思われている方も少なくない。また、私は環境衛生ゼミ員ではなく故 山本武彦先生の門下生ではない。健康学科ではあったが、裏切り者（← 総会懇親会でH元卒 京極さんからもご説明があったかと）のひとり。そう私は健康学科の人間ながら体育学科系ゼミ員（スポーツ医学ゼミ、故 南谷和利先生の門下生）だった。進路についても教職は選ばず企業に進んだが、それも自分で勝手に決めて来た企業だった。なのに、卒業後数年して山本先生から高思会へ参加するようにお誘いいただいた。確か幕張あたりで開催された会だったように記憶しているが、何となく参加した。というのが私の高思会への参加の経緯であった。あれからあつという間に月日が流れた。

思えば、山本先生には何故か大変可愛がっていただいた。講義や実習において学科の皆で怒られた事は数知れずだが、環境衛生ゼミ員でもないこともあってか、単身で怒られた記憶は殆ど無い。

部活は厳しくない所を選んで遊ばずに勉強しようと思っていた。啓心寮では部屋長は医学部生だったので率直に「体育で一番楽な部は何処ですか？」と聞いたら、「野球部だね」と答えが返ってきたのは神様の思し召しだった（笑）かくして講義はリーグ戦以外はサボらず、実習も真面目にやり、レポートも真剣に書き、自分なりに勉強した。その甲斐あって卒業までに上に居た全員を抜いて卒業式では総代を務めてさせていただいた。（実は私は順天堂には補欠合格で入学した。一般的には進学校で、その学校でも決して成績は下の方ではなかった自分が体育大学に補欠でやっと滑り込めた程度の学力であった事は大変なショックだった。それならば入学してからはちゃんとやろうと思い勉強した。）

入学から卒業までにのぼり詰めたのだ！三浦先輩に倣って、自己肯定感満載！初めて皆さんに言えた！これを成長と思ってお許し願いたい。

こうして三十年余をかけて成長した私は、4年ぶりの高思若竹会総会の再開のお手伝いが出来た。黒谷会長からの総会復活の慶びの視察の後、和氣学部長からの大学近況報告をいただく。あの習志野キャンパス、初期のさくらキャンパスまでしか知らない世代には、近代的なキャンパスへ変貌を見せた学舎施設に驚き、後輩達の世界レベルでの活躍を誇らしげく肝心た。

そして懇親会を挟んでの参加者全員からの近況報告。毎回、「へー」などと感心するお話も沢山。本当に多岐にわたって活躍する同窓、現役を卒業してもなおチャレンジをされている先輩方のお話は、パワーをいただける。

そして最後には何年かぶりの大円陣を組んでの校歌斉唱！これが無いと締まらない！とばかりに今年も大声で歌い上げた！

最後に。

黒谷会長、平井さん、三浦さん、熊谷さん、椎野さん、宮地さん、姉齒さん、それぞれの役員としての立場で役割を全うして頂き大変ありがとうございました。また、矢部さん、杉田副院長の（半）命令とは言え、貴重な土曜日に有難うございました。それと稲葉さん、今回の総会は稲葉さん無しには盛会となりませんでした。本当に有難うございました。このほか、順天堂ファミリーの皆様にご心より御礼申し上げます。

## 4. 番外編（懇親会他） & 次回の予定



総会の様子



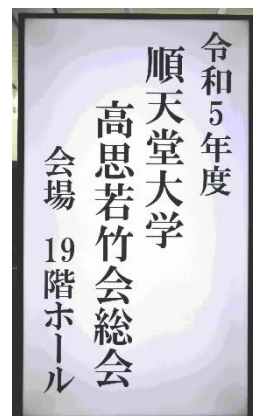
総合司会の三浦さん



五十嵐大先輩の挨拶



定番の懇親会での校歌！



入口の看板

今年も皆さんで楽しい時間を過ごすことができました！  
毎年のことですが・・・  
校歌を歌うと先輩も後輩も一つになりますね！

### <2024年度の開催予定について>

今回、今後の開催時期、内容、場所等のアンケートを実施致しました。本アンケートを参考にして次回の内容を検討していきたいと思っております。詳細は別途ご案内しますので、乞うご期待！